

平成 20 年 3 月 14 日

「観光地づくりを担う人材育成のあり方」分科会

コーディネーター：国土交通省観光地域振興課長 重田雅史

E-mail: omoda-m2fg@mlit.go.jp

1. はじめに

- ・ 発言希望者が多いが、敢えて絞らず、全員に発言をお願いする方針。
- ・ この分科会は、観光サービスの生産・流通・消費という過程では、供給者である観光地におけるマネジメントに焦点をあてる。
- ・ 参加者の「気づき」、「知の触発」、「結びつき」を目指したい。

2. 論点①【9:35～10:20】

「観光地づくり」を如何に捉え、その目標やねらいを着実に達成するための重要なポイントは何か。

※ お一人の発言時間は、2分を目途。時間の余裕があれば、討議。

3. 論点②【10:20～11:25】

「観光地づくり」に必要となる人材のポイントを如何に捉え、その育成はどうしたらよいか。その育成について、産・学・官の間で、相互に何を具体的に望むか。

※ お一人の発言時間は、3分を目途。時間の余裕があれば、討議。

4. まとめ

- ・ 観光地づくりのポイント。
- ・ 人材育成に向けた産・学・官の工夫と連携。

## 地域主導型のオールタナティブな旅の推進に向けて

### 必要とされる人材の類型とその能力(スキル)について

特定非営利活動法人

グローバルキャンパス 大社 充

従来の発地主導型のマスツーリズムに対して、着地主導型のオールタナティブな旅を普及発展させるにあたって、地域において必要とされる人材の類型およびそのスキルについて整理しました。ただし、地域主導型のオールタナティブな旅を推進するにあたっては、様々なレベルにおいて、また異なるマーケットによって多種多様な人材が必要となることから、ここでは、①個人、②家族連れやグループ、③団体という3つの顧客カテゴリーのなかで、③の団体向けの旅を扱う人材に絞り、地域内でのプログラムの開発や企画運営の機能を担う「コーディネーター」についてのみふれることとしています。

#### 地域振興とオールタナティブな旅を推進する人材

---

---

##### ●POLICY

担当者：行政や民間のリーダー

機能：基本理念と基本政策

##### ●PROJECT

担当者：地域プロデューサー

機能：①地域戦略の立案、②プロジェクト・マネジメント、③地域プロモーション

##### ●PROGRAM

担当者：コーディネーター

機能：①プログラムの企画や運営、②対象別マーケティング

※スタッフ：コースリーダー、ガイド（プロ/ボランティア）、その他（プロ/ボランティア）

---

---

#### (1) マスツーリズムとオールタナティブ・ツーリズムの比較

次頁の表は、これまでの主流であったマスツーリズムと、新たな着地主導のオールタナティブ・ツーリズムとの違いを「機関」と「人材」の両面から整理したものである。まず、旅をオペレーションする機関として、発地型マスツーリズムの主要機関であった発地エージェントのもつ機能が、着地のオペレーターに移管されることが予測される。かつて顧客に対して発地エージェントが有していた情報優位性が失われ、さらに着地情報に精通した着地の人材によるきめ細かなオペレーションが必要とされるようになってきたからである。また人材の面から見ていくと、これまで旅程の企画を担っていた発地エージェントの旅行取扱主任者らの機能が着地のコーディネーターに移管され、さらにこれまでの旅人の道先案内人であった添乗員（旅程管理者）が、着地のコーディネーターやコースリーダーに移管されていくことも同じく予想されるのである。

## ■機関と人の比較

		マストゥリズム型	オールタナティブ・ツーリズム型
機関	予約先	発地のエージェント	発地のエージェントまたは着地のオペレーター
	旅程企画	発地のエージェント	着地のオペレーター
	現地手配	発地のエージェント	着地のオペレーター
人	旅程企画者	旅行取扱主任者(発地のエージェント)	着地のコーディネーター
	同行者	旅程管理者(発地から発地まで)	着地のコースリーダー
	専門ガイドなど	無	着地の専門ガイド
			ボランティア

### (2) コーディネーターの機能と求められるスキル

コーディネーターの機能は、地域に存在するあらゆるリソースを駆使して、さまざまな顧客に対して、それぞれ適したプログラムを企画立案し、それを具体的に商品に仕立て上げることが求められる。そして自ら顧客の先頭に立つコースリーダーとして同行することもあり、またコースリーダーを選定してプログラムの運営を任せることも可能である。

そうしたコーディネーターには、以下のような能力（スキル）が求められる。ただし、以下の条件をすべて満たしていれば誰でもコーディネーターができるというものではない。じつは、最も重要で不可欠なものは、「地域を愛している」という熱い心であり、「地域の人に信頼されている」という人柄である。地元に対する愛着がない人に地域のプログラムをつくることはできず、たとえプログラムをつくったとしても誰をも感動させることができない。さらに地元の人から信頼されていない人は、地元の人から協力を得ることができないため、地域に存在する最大のリソースである「人」を活用することができないのである。

#### 【コーディネーターに必要な能力】

##### (1) 商品開発

- ・プログラムを企画できる能力
- ・地域の歴史文化をはじめ地元に対する知識と見識
- ・地元の人的ネットワーク
- ・危機管理の基礎知識

##### (2) プログラム運営

- ・接客の技術
- ・リーダーシップ
- ・顧客をエンタテインする能力
- ・グループダイナミクスを管理できる能力
- ・ボランティア・マネジメントの能力
- ・リスク対応能力

##### (3) 基礎知識

- ・必要な法律についての基礎的な知識
- ・多種多様な顧客マーケットに対する基礎知識

以上

2007年10月

株式会社山と溪谷社

代表取締役 粟津 彰治

着地型ツーリズム・観光による地域づくり戦略の必読書

『人生を一瞬で変える旅に出よう』

本間正人・大社 充 著

山と溪谷社刊

地域資源の活用が新しい観光を生み出す！

本書はNPO法人グローバルキャンパスが企画する「知的冒険の旅」を通じて、新しい旅のかたちを再発見する一冊です。「地域資源の活用」とひと言でいうのは簡単ですが、どこにどんな資源が存在するのか、またその資源の活用方法…となると一筋縄ではいかないのが現実です。旅人にとって新しい旅の発見は、じつは地域資源を上手に活用することに他ならないのです。地元の人と心から触れ合い、本物のホスピタリティに感動する——資源活用型の旅づくりにおいて20年の経験をもつグローバルキャンパスの豊富な事例を交えて集客交流サービスの在り方を解説します。

■実践例

暮らすように旅する滞在型の旅「京都百景」

月山は一年を通じて「学びの旅」の偉大なフィールド

トレッキング&川下りで熊野古道の真髄に迫る

信長の夢と近江商人の真髄に触れる秋の琵琶湖の旅

市民に支えられシアトルにロングステイ

左脳と右脳をめいっぱい刺激するアラスカの旅 ほか、新しい旅のかたちを提案

■『人生を一瞬で変える旅に出よう』

著者 本間正人・大社充

価格 1470円(税込)

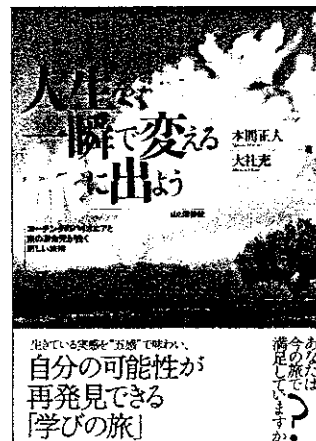
体裁 四六版 232ページ

発売日 2007年11月

発行 山と溪谷社

昨年10月より最寄の書店で好評発売中！

ダイレクト注文は TEL03-5275-9064



平成20年3月13日

各大学 学部長 様

富士箱根ゲストハウス  
代表 高橋 正美

インターン受け入れの件 (お知らせ)

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第3回「観光関係人材育成のための産学官連携検討会議」の主旨に沿い、当館は、下記の要領でインターンを受け入れます。 学生の実践指導にお役立て頂ければ幸いです。

なお、受け入れ要領の詳細につきましては下記までお問い合わせください。

当館は、「観光立国」を担う人材の育成および指導者の養成に向けて可能な限り協力させて頂く所存です。今後共よろしくご指導の程お願い申し上げます。

敬具

記

(インターン受け入れ要領)

- 1、受入対象：短期大学生・4年制大学生・大学院生・教職員他
- 2、受入時期：通年
- 3、受入人数：各週1～2名
- 4、受入期間：1～2週間単位 (応相談)
- 5、受入条件：宿舎に限りがあるためご意向に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 6、問合せ先：〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原912

富士箱根ゲストハウス

代表 高橋 正美 (たかはし まさみ)

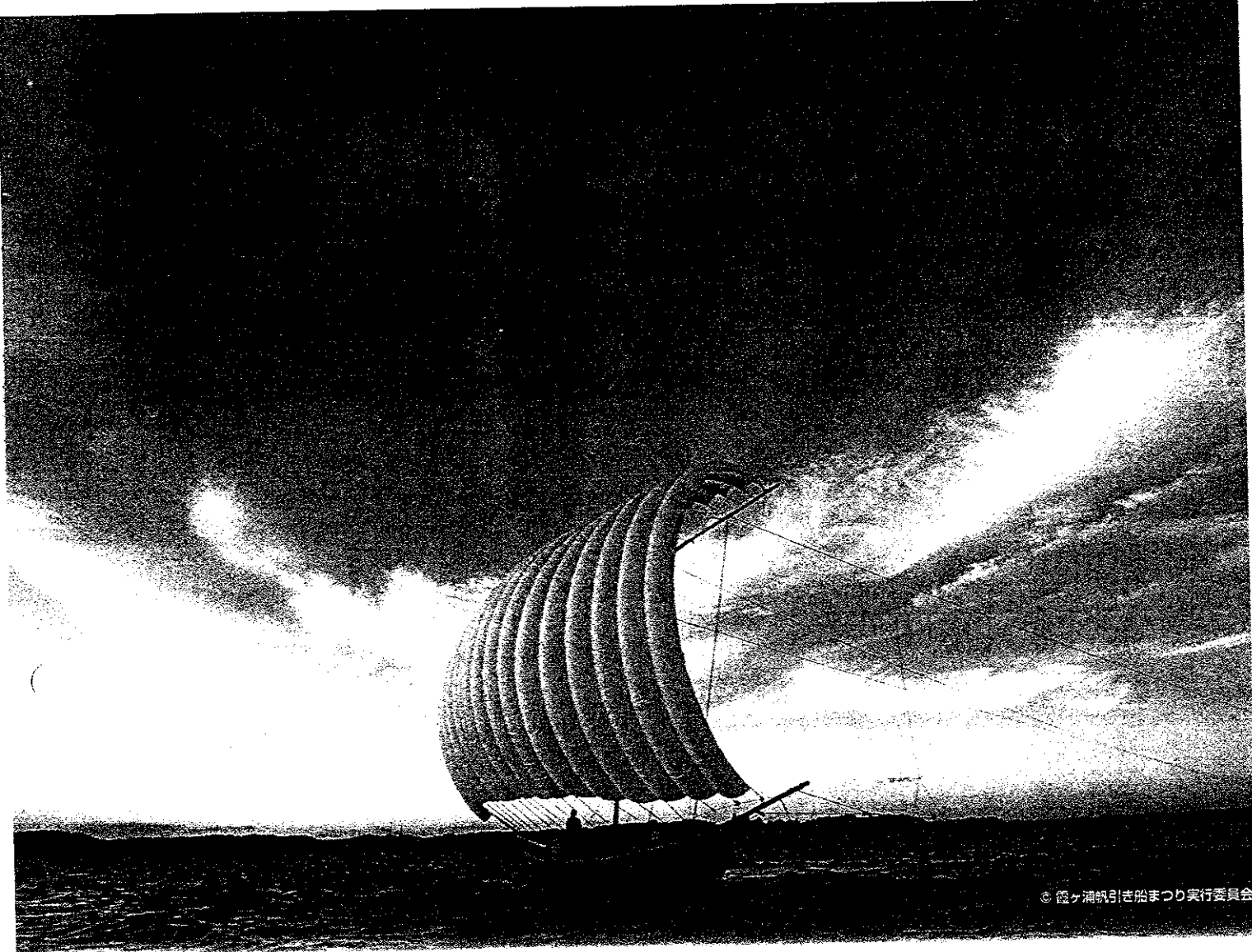
電話：0460-84-6577

FAX：0460-84-6578

URL：[www.fujihakone.com](http://www.fujihakone.com)

Email：[hakonex@hotmail.com](mailto:hakonex@hotmail.com)

以上



©霞ヶ浦帆船引船まつり実行委員会

地方自治法施行60周年記念事業

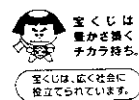
# 霞ヶ浦イキイキ化シンポジウム

— 沿岸12市町村で生まれる地域の元気 —

日時：2007年12月20日(木) 10時～

場所：霞ヶ浦観光ホテル  CANKOH HOTEL

- 主催：土浦市、財団法人自治総合センター
- 共催：茨城県、石岡市、鹿嶋市、潮来市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、  
銚田市、小美玉市、美浦村、阿見町、茨城県霞ヶ浦環境創造事業推進協議会
- 後援：総務省



# プログラム

## 分科会 (10:00~12:00) 地域の活動団体による発表・ディスカッション

- 環境学習・エコツーリズム推進分科会  
アドバイザー：蓮見 孝 氏  
会場：3階 富士の間(A)
- 交流空間創造・観光推進分科会  
アドバイザー：香川 眞 氏  
会場：3階 暁の間
- 地場産業活性化分科会  
アドバイザー：西垣 聡之 氏  
会場：3階 富士の間(B)

## 休憩 (12:00~13:20)

## シンポジウム (13:20~16:30)

会場：3階 富士の間

主催者あいさつ 土浦市長 中川 清  
来賓あいさつ

- 基調講演 講師：マーケティングコンサルタント 西川りゅうじん 氏  
演題：「霞ヶ浦からニッポンを元気にしよう！」  
《霞ヶ浦周辺地域イキイキ化計画》～人と企業と地域と水の元気戦略～
- 各分科会成果報告  
環境学習・エコツーリズム推進分科会  
交流空間創造・観光推進分科会  
地場産業活性化分科会
- 霞ヶ浦イキイキ化への提言

# 会場案内図



# プロフィール



## アドバイザー：蓮見 孝 氏 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授)

経済産業省地域サポーター、日本デザイン学会副会長、グッドデザイン賞審査委員、茨城県生涯学習審議会委員、第23回国民文化祭企画委員会副委員長などを務める。純茨城酒「ピュア茨城」をプロデュース。「マルゲリータ女王のピッツァーかたちの発想論」「ポスト「熱い社会」をめざすユニバーサルデザインモノ・コト・まちづくり」など著書多数。



## アドバイザー：香川 眞 氏 (流通経済大学社会学部国際観光学科 教授)

霞ヶ浦再生担い手育成事業アドバイザー、茨城空港利用促進懇話会副会長、日本国際観光学会会長などを務める。観光産業が国際的にも一層の重要性を増す中、産学共同での学術研究を推進し、その基礎理論や事業手法の確立・普及など国際観光の第一人者として活躍。編著書に、「現代観光研究」、「観光学大事典」など。



## アドバイザー：西垣 聡之 氏 (株式会社 AN計画工房 主宰)

都市計画、地域振興、中心市街地活性化等の分野を中心として茨城県における地域づくりに携わる。近年は、“The town creator”を標榜しワークショップ等を介した住民との協働によるまちづくりを実践。“住む人、使う人”に立脚した計画づくりとその実現に取り組んでいる。水戸市南町2丁目商店街振興組合M<sup>2</sup>街並み形成委員会アドバイザー。



## 講師：西川りゅうじん 氏 (マーケティングコンサルタント)

1960年生まれ。一橋大学経済学部及び法学部卒業。

「表参道ヒルズ」のコンセプト立案に携わり、鹿児島県本格焼酎マーケティング研究会座長として昨今の焼酎ブームを演出、また、地価上昇率日本一となった「つくばエクスプレス」沿線地域のPRスーパーバイザーを務めるなど、地域と産業の活性化に手腕を発揮している。厚生労働省国民の健康づくり推進方策検討委員、林野庁森林セラピー戦略会議座長、内閣府沖縄県離島活性化「美(ちゅ)ら島ブランド」委員、東京工業大学・早稲田大学などの非常勤講師、拓殖大学客員教授を歴任する。

アッシー、メッシー、ジモチなど流行語の造語でも知られる。茨城県とのゆかりも深く、茨城県田園都市推進会議アドバイザー、つくば市「アートシティつくば」まちづくり懇話会委員や、茨城県中小企業集団連合会、茨城県いばらき創り1000人委員会提言集会、茨城県高度情報推進協議会マルチメディア体験フェア、鹿島鹿行法人会、常陽銀行経営者懇談会などの講師を務めた。また、県北地域のライフスタイル「いばらきさとやま生活」の名付け親でもある。

## 司 会：茂野えり子

NHK「こんにちは いっと6けん」キャスター・リポーター、「首都圏ネットワーク」キャスター・リポーター、「テレマップ」リポーター、NHK BS1「BS首都圏ネットワーク」リポーター、NHKラジオ第一放送「ネットワーク日本」キャスター・リポーター、「列島音の旅」キャスター・リポーターなど 元NHK宇都宮放送局アナウンサー



# 分科会メンバーのご紹介

## ●環境学習・エコツーリズム推進分科会

- 【千葉県我孫子市】NEC CSR推進本部環境推進部我孫子環境管理推進センター 松下 直子  
【水戸市】茨城県ウォーキング協会 川上 清  
【石岡市】白菊酒造株式会社 廣瀬 慶之助《リーダー》  
【牛久市】NPO法人アサザ基金 向山 玲衣  
【鹿嶋市】鹿嶋市企画課 桐生 進一  
【潮来市】国際交流の会・ポプラ 藤原 正子  
潮来野鳥の会 岩本 昌憲、藤崎 富代  
ITAKOクオリティー・ウィメンズネット 明間 愛子、堀江 和代  
潮来市企画財政課 大川 容子《サブリーダー》  
【行方市】井上山百合の会 谷田 清子  
行方市企画課 永峰 英明  
【鉾田市】鉾田市企画課 酒井 浩司  
【小美玉市】NPO法人玉里しみじみの村／常陸小川ライオンズクラブ 高木 宗二  
【美浦村】陸平をヨイショする会 堀越 靖子  
【土浦市】社団法人霞ヶ浦市民協会 真山 淑枝  
関東鉄道株式会社 廣瀬 貢司  
株式会社ラクスマリーナ 秋元 昭臣  
茨城県霞ヶ浦環境科学センター 渋谷 栄二

## ●交流空間創造・観光推進分科会

- 【石岡市】やさと里山体験クラブ／やさと茅葺き屋根保存会 鈴木 俊勝、篠塚 敏  
石岡市企画課 佐藤 敏明《リーダー》  
【鹿嶋市】鹿嶋市企画課 植木 麻由美  
【潮来市】株式会社潮来ホテル 高塚 悌司  
常磐大学 松原 克志  
NPO法人ピコット 磯山 範子  
国際交流の会・ポプラ 伊藤 恵理子  
ITAKOクオリティー・ウィメンズネット 下河 よし子  
【稲敷市】稲敷市水質監視員 川崎 茂  
稲敷市企画課 大津 里絵  
【かすみがうら市】霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会 齋藤 等  
【神栖市】神栖市企画課 小森 美明  
【鉾田市】茨城県鹿行地方総合事務所企画振興室 長島 ゆみ子  
【阿見町】阿見町商工会 金子 浩《サブリーダー》、斉藤 良孝  
【土浦市】社団法人霞ヶ浦市民協会 大川 幸一  
関鉄観光株式会社 堀田 進  
株式会社ラクスマリーナ 加国 久雄  
茨城県県南地方総合事務所企画振興室 田川 沙矢佳

## ●地場産業活性化分科会

- 【水戸市】株式会社経営科学研究所 初鹿野 浩明  
【潮来市】社団法人潮来青年会議所 松崎 陽樹  
株式会社いたこ 大塚 克也  
農事組合法人水郷潮来のかあちゃん手むすび 高田 秀子、草野 せい  
愛友酒造株式会社 兼平 紀子  
【かすみがうら市】千代田果樹観光協会 安田 秀徳  
霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合かすみがうら市支部 安部 知明《リーダー》  
【行方市】なめがた農業協同組合 棚谷 保男  
行方市玉造商工会／行方市玉造観光協会 飯田 正義  
【小美玉市】株式会社山西商店 山西 弘一郎《サブリーダー》  
小美玉市企画調整課 小松 修也  
【土浦市】社団法人土浦青年会議所 霞ヶ浦共育実践委員会 香取 秀総

2007年度採択現代GP「学生力を活用した地域への還元教育システム」



# 観光を通じた地域づくりに学生力をどう活かすか —別府をフィールドに—



2008年1月19日(土曜日) 14:00~17:20



別府市コミュニティーセンター

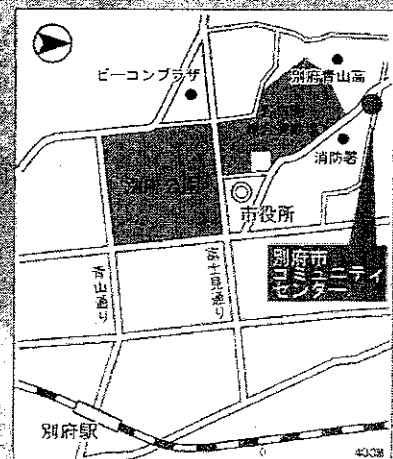
別府市上野口町29番13号(案内図下記参照)

APUの学部間連携プログラムの一つであるツーリズム&ホスピタリティ・インスティテュートが主体となって取り組んでおります、文部科学省・現代GPの「学生力を活用した地域への還元教育システム —地域と学生と一緒に創る別府・泉都観光ルネサンス・プログラム—」では、採択初年度にあたる今年度内にプログラムの実施を別府市内外に広く告知し、また地域との協同体制を構築すべく、「スタートアップ・シンポジウム」を開催することとなりました。

シンポジウムでは10月以降の取組みの成果について学生を主体とした研究発表を行うとともに、本プログラムの主旨である「学生力を活かした地域づくり」と「観光振興」を結びつけることをテーマとしたパネルディスカッション、および市民の参加者を交えた討論を予定しております。

## シンポジウム・プログラム

- 13:30~ 受付開始
- 14:00~14:10 開会あいさつ; APU副学長 中野雅博
- 14:10~15:10 取組み成果発表  
昨年10月以降の本プログラムの取組み成果をAPUの学生と教員が発表します  
内成古民家再生チーム  
温泉ツーリズムチーム  
別府近代化遺産チーム
- 15:10~15:30 休憩
- 15:30~16:50 パネルディスカッション 「観光を通じた地域づくりに学生力をどう活かすか—別府をフィールドに—」  
パネリスト  
篠崎 宏(ツーリズム・マーケティング研究所主任研究員)  
野上泰生(野上本館社長)  
山田一隆(龍谷大学教員)  
清家久美(APU教員)  
コーディネーター: 轟博志(APU教員)
- 16:50~17:10 全体討論
- 17:10~17:20 閉会にむけて



お問い合わせ先

立命館アジア太平洋大学(APU)  
アカデミック・アウトリーチ・オフィス

担当: 大嶋 勉  
Email: h2o61768@apu.ac.jp

〒874-8577  
大分県別府市十文字原1丁目1番  
TEL 0977-78-1101 FAX 0977-78-1102